

自主学習会

古代の東国探訪学習会

(毎月第3木曜 13時30分～)

「東国」のうち主に関東を研究課題にした古代史学習会です。ヤマト王権に統一されるまで、ヤマトや九州に並ぶ『東国王朝』は無かったのか。関東の古代史を地元目線で掘り起こす学説、文献、自説など、勉強結果を持ち寄って発表、討論し、時には史跡探訪や懇親会を重ねています。



旅と街道 III

(毎月第4水曜 13時30分～)

古くからある日本の街道を学習します。2011年から江戸時代の下総生(鮮魚)街道を取り上げています。冷蔵庫のない当時銚子の海産物はどのようにして江戸まで運ばれたか。班別に分かれて、調べたことを発表したり、現地を歩いて当時の旅に思いを馳せるようなこともやっています。

中級古文書学習会

(毎月第4金曜 13時30分～)

会員は古文書を解説し、その時代背景を考え、内容を発表しています。3年半前より堀田家の「町在御仕置留」(刑罰の判決書)を学習しています。

時代は明治に移り、混乱した世相を反映した事件、江戸時代との仕置制度の違い等も見られ興味も湧いてきます。塚本学歴博名誉教授に助言を頂いています。

歴博友の会入会のご案内 —友の会会員の特典—

- ☑ 国立歴史民俗博物館及びくらしの植物苑に無料で入館(入苑)できます。
- ☑ 友の会が主催する見学会、講演会、講座等各種のイベントに随時参加できます。
- ☑ 歴博や友の会の情報を満載した友の会ニュース(隔月刊)が無料で送付されます。
- ☑ 普通会员には歴博編集の歴史系総合誌「歴博」(隔月刊)が無料で送付されます。
- ☑ 普通会员には入会時および更新時に、「歴博招待券」が3枚無料で送付されます。

会員の種類	年会費
新規普通会员	*8,000円
準会員	3,000円
家族会員(2人分)	5,000円

*2年目以降(継続普通会员)は年会費7,000円です。

問い合わせ: 表記の財団法人 歴史民俗博物館振興会「友の会」係までお問い合わせください。

友の会ホームページでも詳細をご案内しています(検索画面から“歴博友の会”で検索できます)

国立歴史民俗博物館友の会

国立歴史民俗博物館友の会
は、わが国の歴史・文化を総合的に研究・展示するセンターとして、初めて発足した国立歴史民俗博物館の歴史・文化を基盤に、それぞれ異なる市民の博物館として育てるとともに、わたしたちの国の歴史と文化を、より広く、より深く、知ってもらう活動をする活動者たちの集まりです。

最新の入会案内を掲載しています。入会手続は「友の会入会のご案内」を参照ください。

友の会見学会
2011年度最初の見学会は「古河の歴史とあるく」でした。5月13日(日)に多目的ホール(常設展示室)で開催し、盛況のうちに終了しました。=> 詳細

友の会新会員を募集しています*

友の会会員特典
国立歴史民俗博物館(常設展、企画展とも)およびくらしの植物苑に同回で無料入館(入苑)できます。
友の会が主催する見学会や講座会等、各種のイベントに参加できます。(本年度のイベントは友の会の手続きを参照ください)
友の会ニュース(隔月刊)が無料で送付されます。
*普通会員・準会員には国立歴史民俗博物館編集の歴史系総合誌「歴博」(隔月刊)が無料で送付されます。
*詳細は「友の会入会のご案内」を参照ください。

国立歴史民俗博物館 友の会



2011.4—2012.3

(2011.8発行)

財団法人 歴史民俗博物館振興会
〒285-0017 千葉県佐倉市城内町1 1 7
国立歴史民俗博物館内

電話 043-486-8011
FAX 043-486-8008

http://www.rekishin.or.jp
E-Mail: tomonokai@rekishin.or.jp

自主学習会

友の会会員による自主学習会です。友の会会員ならどなたでも参加できます。興味のある学習会に参加しませんか。本格参加の前の見学もお受けしております。

近世史読書会

(毎月第1水曜 13時30分～)

司馬遼太郎の「菜の花の沖」を読みます。北前船の回船業者であり、日露両国の緊張緩和にも尽力した高田屋嘉兵衛。小説を読みながら例えば第一部では廻船の船形、水夫の出身地、若衆宿などいろんなテーマで論じ合います。指導は塚本学歴博名誉教授にお願いしております。

日本の民俗を訪ねる

(毎月第2水曜 13時30分～)

日本人はどこから来たか。日本人とはなにもかという問いに、民俗学という視点で考え、話し合おうとしています。現在、学習会前半では会員各自持ち寄りのテーマに基づきフリーディスカッション。後半はテキストを用いた民俗学入門。今は「民俗学への招待」(ちくま新書)宮田登著を使っています。



近現代史読書会

(毎月第3火曜 13時30分～)

近現代史の教材を用いて、月1回気軽に意見交換を楽しむ会です。一昨年からは岩波新書の「日本近現代史」10巻を教材に、幕末から昭和戦後までに取り組み中。明治を経て、いよいよ大正デモクラシー・満州事変・日中戦争の時代へと進んでいきます。